

# 新春対談

二〇二〇年一月、記念すべき七十号を迎えたチヨーホーにふさわしく、新春対談からスタートです。このたび、中村法道長崎県知事をお迎えして、河野茂長崎大学長との対談が実現しました。コーディネーターは、この号から新しく編集長となつた山口純哉准教授です。

長崎県知事

## 中村法道

NAKAMURA Houdou

長崎大学長

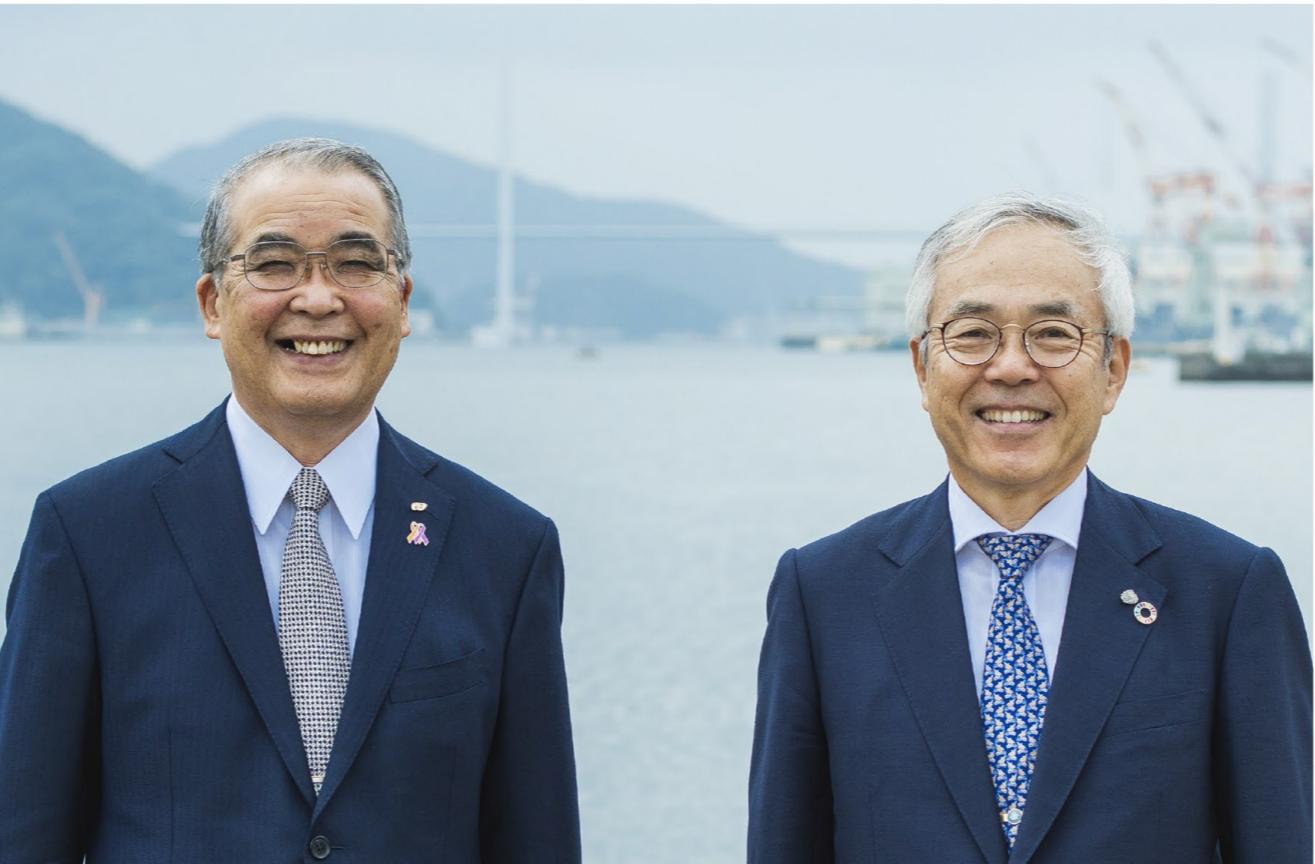
## 河野 茂

KOHNO Shigeru

山口編集長（以下、山口） 知事、本日はお忙しいところありがとうございます。高校生に、長崎県、長崎大学で学びたい、将来もここで暮らしたいと思つてもらうために、どのようなことに取り組んでいるかを、知事と学長のお二人に語つていただくというのが今回対談の目的です。まず、長崎の現状と将来像について、知事からお話しいただけますか。

中村知事（以下、知事） 本土の最西端に位置する長崎県は、地理的な特性

を生かし、海外に開かれた窓口として発展してきました。しかし、移動手段が海から空に変わると、交流拠点も変わりました。平地に乏しく水の確保が難しい本県は、産業構造の変革が進みませんでした。私が知事に就任した平成二十二年はリーマンショックの直後で、県民の多くの方が、働く場を何とかしてほしいと願っていました。そこで、平成二十三年に新しい総合計画を策定し、人々が元気で活躍できる県を目指し、産業の活性化に全力を注いできました。その成果として、雇用の創出や県外からの移住者の数は目標を超えて増加しています。しかし、人口減少にならぬ歯止めがかかるない状況にあります。人口減少対策については、若い世代の方々が県内にとどまつて生きがいを感じながら、安心して住み続けていく環境を整えることが一番大切だと考えています。そのため、新しい基幹産業として、海洋エネルギー関連産業、航空機関連産業の三つを育成したいと考えて、関連分野の企業の誘致や企業の積極的な取り組みを支援しているところです。第五次産業革命の時代を担う優秀な人材をいかに育

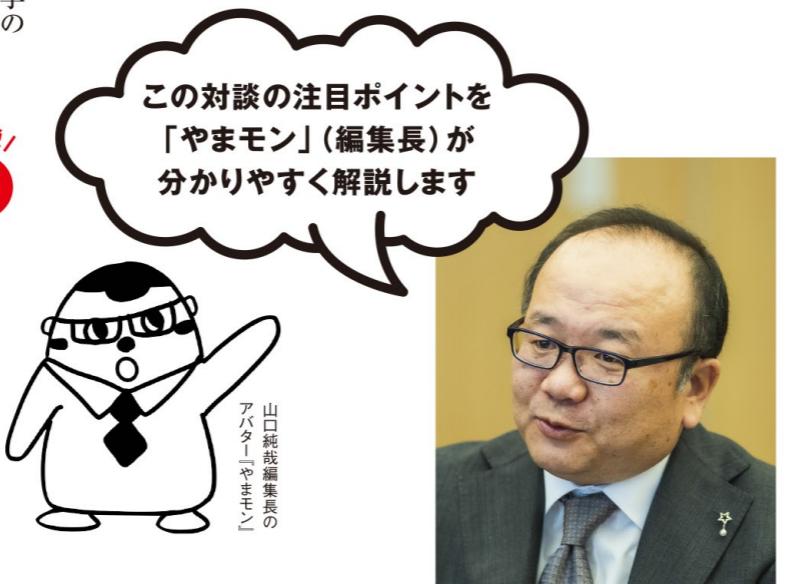


知事も学長も忙しいスケジュールの合間に縫っての対談となりましたが、県庁前の緑地「おのうえの丘」に立ち、長崎港をわたる潮風に吹かれて思わず笑顔がこぼれます。

## 山口純哉

YAMAGUCHI Junya

コーディネーター／本誌編集長



①

解説  
オープンイノベーション

成すべきかがこれから最重要課題であり、長崎大学には大いに期待しています。

山口 学長、知事が今おっしゃった県の将来像を実現するために、大学はどうのような役割を果たしていくのでしょうか。

学長 はい、ずいぶん変わりました。

知事 そうですか、私が長崎大学に入学した当時は、県内と県外の出身の学生の割合は三対七です。

な使命となりました。ちなみに本学の場合、長崎県出身の学生と県外出身の学生の割合は三対七です。

山口 学長、知事が今おっしゃった県の将来像を実現するために、大学はどうのような役割を果たしていくのでしょうか。

学長 はい、ずいぶん変わりました。

知事 そうですね。本学は地域に貢献し、地域を元気にするために、産学官（産業界、大学等）などの教育機関、県や市町村）が連携して新たな雇用や研究を創出するのが、大学に課せられた使命でもあります。最近よく聞く「オープンイノベーション」ですね。長崎県では二つ

の世界遺産が登録されたので、その財命の時代を担う優秀な人材をいかに育

国際貢献をすることが国立大学の重要な時代は変わり、現代では教育と研究に加え、社会と接点を持ち地域貢献や

の誘致や企業の積極的な取り組みを支援しているところです。第五次産業革命の時代を担う優秀な人材をいかに育

命の時代を担う優秀な人材をいかに育



長崎県知事

## 中村法道

NAKAMURA Houdou

1950年生まれ。1973年長崎大学経済学部卒業。同年4月長崎県入庁。企画部国際課長、福祉保健部県立病院課長を経て、1999年日蘭交流400周年事業推進室長に就任。その後、対馬支庁長、農林部長、総務部長を歴任し、2009年副知事に就任。2010年より現職。

# 企業は大学の人材育成に注目しています

解説  
2

県内就職応援サイトNなび

産をどのように生かしていくかも、本学が貢献すべきテーマです。そして、もう一つ忘れてはならないのが、長崎は広島と共に被爆した都市であり、日本で唯一の被爆医科大学の歴史を継承する大学として平和に貢献するということです。

**山口** 大学と県は、同じ方向を向いて進んでいるということですね。若者の県内定着のお話が出ましたが、長崎県の取り組みについてお教えください。

**知事** 県内の優秀な高校生の方々には、県内の大学で学術研究を重ねて地域のために活躍していただのが、私たちの一番の希望です。実際、各企業の経営者の方々とお話をしていると、新たな事業展開の拠点を選定すると

き、その地域の大学にはどのような人材がいて、どのような研究に力を注いでいるかに大きな関心を持つています。これはつまり、進出する地域にある大学の人材育成が、拠点を選ぶ際の大きな理由になるということです。特に近年は、情報系の研究開発拠点を長崎に設けたいという企業が続々と名乗りを上げています。富士フィルムグループ、京セラグループ、デンソーグループ、セイノーグループなど、国内有数企業が優秀な人材を求めて長崎に進出しています。こうした中、県内企業の情報を学生に提供するために、「県内就職応援サイトNなび」を開設しました。二千百社の企業と約六千六百人の学生が登録しており、今

後マッチングが進むことを期待しています。また、各企業の説明会、就職面談会なども開催するほか、県下の各高校にはキャリアサポートスタッフを配置し、県内就職を安心して選んでいただきための情報提供をしています。しかし、都市部の企業と比べると、県内企業は給与や福利厚生などの勤務環境で差が出でるため、採用力の強化や、女性が活躍できる環境の整備を推進しています。いずれにせよ、企業の皆さんは優秀な人材を求めて地方に進出してくるというこれまでにない動きを見せていると理解しています。

**山口** 私の専門は地域経済なのです。これまでにない動き企業は、人、モノ、金、情報やネットワークといった経営資源を求めて立地場所を決定します。これまで日本の経済を牽引してきた製造業の工場は、土地や建物、原材料などのモノがある地域に立地する傾向があります。

長崎県総合就職支援センター TEL.095-842-5424



長崎県下の企業と県内で就職活動を行う学生の皆さんを呼び付けるプラットフォームとしての役割を担うのが、県内就活応援サイトNなび。県内企業登録数は二〇一九年十月現在で二〇九九社、学生登録数は六五九三人。公式スマホアプリをダウンロードすれば、県内就職に関する情報を入手できます。長崎県や県内の市町が企画する企業説明会、合同面談会、セミナーなどのイベント情報もいち早くチエックできます。

解説  
3

これまでにない動き

企業は、人、モノ、金、情報やネットワークといった経営資源を求めて立地場所を決定します。これまで日本の経済を牽引してきた製造業の工場は、土地や建物、原材料などのモノがある地域に立地する傾向にあります。

が、長崎には世界で唯一という強みを持つ企業や、全国一のシェアを誇る企業があります。しかし、学生には知られていません。学長、大学側としても県と歩調を合わせ、長崎の魅力を周知しないといけませんね。

**学長** はい、県と大学の協働で始まったCOC+では、学生の皆さんのが地域の魅力を学ぶカリキュラムを取り入れています。大学の新たな取り組みとして、来年度からは優秀な学生を対象として入学時に奨学金を給付する制度（特集16ページ）も始まります。また、新たにキャリアセンター（特集15ページ）を整備し、学生の人生設計をサポートする体制も整えています。学生の皆さんには、どのような勉強をすれ

ば進むべき方向の可能性が高まるかとということを自ら考えるとともに、社会とのつながりの中で、人間力を磨く勉強をすることが大切です。

**新しい情報データ科学部は多彩でわくわくする顔ぶれ**

研究・教育機関の優秀な研究者（特集13ページ）に声を掛け、多彩でわくわくする顔ぶれがそろいました。情報サイエンスといえば、若い方が興味を持ちやすいのはドローンやロボットなどでしょう。それらは、医学や教育学、経済学、観光など、あらゆる分野に応用可能であり、各方面で活躍する人材が育成されるはずです。本学では、感染症や放射線に続く第三の研究のコアとして、海洋エネルギーや創薬のプロジェクトが推進されていますが、ここにAIの技術を投入することで、さらに発展することと思われます。ちなみに、情報データ科学部には海外の優秀な学生も入学してきます。彼らは、将来的に日本の企業に就職することも考

ります。大学の新たな取り組みとして、来年度からは優秀な学生を対象として入学時に奨学金を給付する制度（特集16ページ）も始まります。また、新たにキャリアセンター（特集15ページ）を整備し、学生の人生設計をサポートする体制も整えています。学生の皆さんには、どのような勉強をすれ

ば進むべき方向の可能性が高まるかとということを自ら考えるとともに、社会とのつながりの中で、人間力を磨く勉強をすることが大切です。

# 起業家精神を有する人材を内外に輩出します

解説  
4

COC+ シーオーシー・プラス

COC+とは、大学が地方公共団体や企業などと協働して、学生にとって魅力のある就職先を創出するプロジェクト。長崎大学は知の拠点として、地域が求める人材を養成するのに必要な教育カリキュラムを用意しています。例えば、学内外からの講師による長崎の歴史や文化を学ぶ講義や、地域課題に取り組む参加型の授業を実施。また、観光、医療・福祉、教員養成、海洋エネルギー・海洋環境を重点課題として、地元で就職できる学生を増やす専門教育分野プログラムを設けています。



長崎大学長

河野 茂

KOHNO Shigeru

1950年生まれ。1974年長崎大学医学部卒業。長崎大学助手、ニューメキシコ州立大学医学部研究講師を経て1996年長崎大学医学部教授となる。2009年同大学理事、大学病院長を歴任後、2014年副学長に就任。2017年より現職。

えられ、そうした出口戦略は産学官連携のシンボルになるのではないでしょ

うか。また、これを機に、他学部を含めた長崎大学の学生すべてが情報サイエンスの基礎を学び、情報を活用する能力を身に付けられるカリキュラムの準備を進めています。

**知事** 各企業の皆さんも、そういうた

長崎大学の学部新設の動きや、ビッグデータを対象にさまざまな分析をして一つの方向性を研究するサイエンティスト養成の取り組みを踏まえて、研究開発拠点を開設されていると思ってい

ます。私たち行政の立場から新学部に期待しているのは、県の基幹産業である観光の国際化が進む状況でどういつた施策が有効なのか、あるいは「健康

長寿日本一の県づくり」を目指す上で、健康づくりに必要な一番の要因は何かなど、さまざまな地域の課題解決に向けた分析を進めていただけるの

ではないかということです。何しろ本県は地域課題の先進県ですから（笑）

## 地域医療の取り組みは

### 5G時代にさらに進化

山口 長崎の未来について前向きなお話が出ましたが、最後に高校生へのメッセージをいただけますか。

**知事** 長崎駅周辺は、新幹線の開業を間近にして、着実に街づくりが進んでいます。長崎市役所や県庁跡地などの再開発、クルーズ船受け入れ機能強化に向けた松が枝岸壁の2バース化など、おそらく五十年か百年に一度の規模で、街のたたずまいが大きく変わろうとしています。併せて、研究開発拠点の誘致・育成や、先ほど申し上げました海洋エネルギー関連産業、AI・IOT・ロボット関連産業、航空機関連産業の製造業の振興など、若い人た



## 多様性のある街で学び、働く そんな展望が描けます

コーディネーター  
本誌編集長

### 山口純哉

YAMAGUCHI Junya

経済学部准教授。1971年愛媛県松山市生まれ。神戸商科大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。2000年より長崎大学に着任。2007年より現職。専門は地域経済学(産業集積、ソーシャルビジネス、震災復興)。

山口 多様性のある街で学び、遊び、そして多様な企業に就職し、やりがいを見つけて暮らす、そんな展望が描けそうなお話をでした。本日はどうもありがとうございました。

どうまくいくといふところはないでしょ

う。これまで長崎県離島医療圈組合を作り、離島で活躍する人材を何十年にもわたり育ててきました。県

が寄附講座として支援してくださったこと、改めてお礼申し上げます。平成二十三年からは医学部に地域枠を設けて、地元で活躍する医療人材の育成にも力を注いでいただ

ています。

**学長** 地域医療については、長崎県はさらなる高度化、5Gの時代となり、

高速通信網を活用した機器を使つこ

とで、離島など現場に即した形で遠距離間の診断など

が可能になると思

います。離島などの生活の質を高め

るために、医療などをさまざまな分野でのサポートも期待しています。

**学長** 長崎は日本の最西端ですが、その知名度は世界的に高く、インパクトも相当なもの

です。世界中の若者が長崎で学ぶことを目指し、そこ

に日本の若者も一緒に力を合わせていき

ましよう。

**学長** 長崎は日本

の最西端ですが、その知名度は世界

的に魅力のある街になるよう全力を

注いでいきますので、高校生の皆さんも大学生活を長崎で過ごし、将来を見

うとしています。併せて、研究開発拠点の誘致・育成や、先ほど申し上げま

した海洋エネルギー関連産業、AI・

IOT・ロボット関連産業、航空機関連産業の製造業の振興など、若い人た

として付け加えておきます。

山口 多様性のある街で学び、遊び、

そして多様な企業に就職し、やりがいを見つけて暮らす、そんな展望が描けそうなお話をでした。本日はどうもありがとうございました。

### 解説 5 地域枠



どうまくいくといふところはないでしょ

う。これまで長崎県離島医療圈組合を作り、離島で活躍する人材を何十年にもわたり育ててきました。県

が寄附講座として支援してくださった

こと、改めてお礼申し上げます。平成二十三年からは医学部に地域枠を設けて、地元で活躍する医療人材の育成にも力を注いでいただ

ています。

**学長** 地域医療については、長崎県はさらなる高度化、5Gの時代となり、

高速通信網を活用した機器を使つこ

とで、離島など現場に即した形で遠

距離間の診断など

が可能になると思

います。離島などの生活の質を高め

るために、医療などをさまざまな分野でのサポートも期待しています。

**学長** 長崎は日本の最西端ですが、

その知名度は世界

的に高く、インパ

クトも相当なもの

です。世界中の若

者が長崎で学ぶこ

とを目指し、そこ

に日本の若者も一

体になる、まるでラグビーワールド

カップの日本チームのように「ワン

チーム」で学ぶコスモポリタンな大学として本学を位置付けています。ジャパンネットのスタジアムを軸にしたアリーナやホテル、商業施設などの複合施設という、スポーツ観戦や遊びなどのエンターテインメントスポットが大学のそばにできることも、新しい魅力として付け加えておきます。

**学長** 多様性のある街で学び、遊び、そして多様な企業に就職し、やりがいを見つけて暮らす、そんな展望が描けそうなお話をでした。本日はどうもありがとうございました。

命名は中村法道長崎県知事。日本で初めて西洋医学を教授したシボルトの私塾「鳴滝塾」が命名の由来です。長崎で初期研修を行う研修医のサポートを目的としたプロジェクトで、長崎県と県内の臨床研修病院で組織する長崎県医師臨床研修協議会がバツクアップしています。長崎県内の研修病院への見学、研修、マッチング受験・就職のため、研修医にはきめ細やかな研修サポートや学びの場を提供します。

### 解説 6 離島・へき地医療学講座

長崎県離島医療圈組合

昭和四十三年度から県と関係市町と一緒に経営する一部事務組合として「離島医療圏組合」を発足。平成二十一年度からは県立病院と合わせて長崎県病院企業団として、現在八病院三附属診療所を運営しています。

長崎県病院企業団本部  
TEL:095-825-2255

長崎大学の大きな強みの一つである離島・へき地医療学講座は、すでに十四年間の実績を誇ります。見学や実習を受け入れていただくのは、地域の中核病院やへき地の診療所、歯科医院、薬局、訪問看護ステーションなどです。

長崎大学の各学部が有する専門分野と関係する地域課題の宝庫です。医学部医学科では、一般入試に加えて学校推薦による推薦入試IIがあり、その中に「地域枠」を設けています。地域医療枠(定員十五名)では、長崎県医学修学資金の推薦が必要で、入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受けられます。その他、佐賀県枠と宮崎県枠があり、各県の医師修学資金が貸与されます。

### 解説 7 離島での実習経験

離島での実習経験

離島は、地域課題の先進地です。地域の医療福祉の維持、水産業や海洋エネルギー産業の振興、地域文化の継承や地域の持続可能性の向上を推進する政策のあり方など、長崎大学の各学部が有する専門分野と関係する地域課題の宝庫です。医学部や経済学部でも離島をフィールドにした実践の場が用意されており、学生は机上の学びと現場での体験を往復しながら問題解決能力を身に付けます。

長崎大学の各学部が有する専門分野と関係する地域課題の宝庫です。医学部医学科では、一般入試に加えて学校推薦による推薦入試IIがあり、その中に「地域枠」を設けています。地域医療枠(定員十五名)では、長崎県医学修学資金の推薦が必要で、入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受けられます。その他、佐賀県枠と宮崎県枠があり、各県の医師修学資金が貸与されます。

### 解説 8 新・鳴滝塾

新・鳴滝塾

離島は、地域課題の先進地です。地域の医療福祉の維持、水産業や海洋エネルギー産業の振興、地域文化の継承や地域の持続可能性の向上を推進する政策のあり方など、長崎大学の各学部が有する専門分野と関係する地域課題の宝庫です。医学部医学科では、一般入試に加えて学校推薦による推薦入試IIがあり、その中に「地域枠」を設けています。地域医療枠(定員十五名)では、長崎県医学修学資金の推薦が必要で、入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受けられます。その他、佐賀県枠と宮崎県枠があり、各県の医師修学資金が貸与されます。

### 解説 9 他の学部の学生も

他の学部の学生も

離島は、地域課題の先進地です。地域の医療福祉の維持、水産業や海洋エネルギー産業の振興、地域文化の継承や地域の持続可能性の向上を推進する政策のあり方など、長崎大学の各学部が有する専門分野と関係する地域課題の宝庫です。医学部医学科では、一般入試に加えて学校推薦による推薦入試IIがあり、その中に「地域枠」を設けています。地域医療枠(定員十五名)では、長崎県医学修学資金の推薦が必要で、入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受けられます。その他、佐賀県枠と宮崎県枠があり、各県の医師修学資金が貸与されます。

離島は、地域課題の先進地です。地域の医療福祉の維持、水産業や海洋エネルギー産業の振興、地域文化の継承や地域の持続可能性の向上を推進する政策のあり方など、長崎大学の各学部が有する専門分野と関係する地域課題の宝庫です。医学部医学科では、一般入試に加えて学校推薦による推薦入試IIがあり、その中に「地域枠」を設けています。地域医療枠(定員十五名)では、長崎県医学修学資金の推薦が必要で、入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受けられます。その他、佐賀県枠と宮崎県枠があり、各県の医師修学資金が貸与されます。